

袖壁補強用 無収縮グラウトコンクリート

太平洋プレユーロックスGC-R

■ 特 長

- 1 高流動性** 普通コンクリートに比べ優れた流動性を発揮するため、建物耐震補強工事時、生コンクリート打設後の上階梁下隙間に無収縮モルタルを圧入する2工程の施工が、上階梁下までの1工程施工に改善されます。
- 2 低発熱性** 一般の低発熱型無収縮モルタルに比べ水和に伴う温度上昇が低く温度応力ひび割れが生じにくい。ため、比較的部材断面が大きな箇所にも適用できます。
- 3 高強度性** 一般に使用される普通コンクリートに比べ高い強度が発現される(補強部材のせん断耐力が20%程度高くなる^{*1})ことから、補強断面や補強量の削減が図れます。
- 4 高弾性** 弾性(ヤング)係数が汎用型の無収縮モルタルより大きく、普通コンクリートの弾性係数算定式^{*2}で評価できることから、普通コンクリートと同様な補強設計が可能です。
- 5 高接着性** ノンブリーディング、拘束条件下での無収縮性及び普通コンクリートの引張強度と同程度の接着強度を有することから、補強部材と既存躯体の接着面を一体打ちとして設計することが可能^{*3}です。
- 6 優れた施工性** プレミックス製品であるため現場でハンドミキサでの練り混ぜ及び小規模モルタルポンプでの圧送が可能で、ピンポイントでの施工が可能です。

※1：モデル建物(増設袖壁部に設計基準強度21N/mm²の普通コンクリート使用時とプレユーロックスGC-R使用時のせん断耐力の比較)での試算結果

※2：「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説2018／日本建築学会」表5.1内の式

※3：各耐震判定委員会です承を得る必要があります。また、施工時には接合面を介してGC-Rの水分が吸収されないよう吸水調整が必要です。

■ 荷 姿

製品名	規格・仕様	荷 姿
太平洋プレユーロックスGC-R	プレミックス型	25kg／袋

■ 標準調(配)合例

区 分	使用温度範囲 (℃)	目標コンシステンシー フロー値(mm)	本製品 (kg)	練混ぜ水量 (kg)	練上り量 (ℓ)
単位(kg/m ³)	5～35	170～250	2,111(約85袋)	228	1,000
1袋あたり			25／袋	2.7	約12

(注) 外気温、材料温度、練混ぜ水温により規定とするコンシステンシーを得るための水量が若干変動しますので、事前に試し練りを行い、水量の確認を行ってください。

(注) 練混ぜは機械練りとし、全材料投入後(90～120秒)程度練混ぜを行ってください。

■ 用 途

- ▶ 既存建物の耐震補強(袖壁増設、壁開口閉塞及び柱の巻き立て補強)設計及び工事における生コンクリートの代替



太平洋マテリアル株式会社

■ 物性例※1

試験項目		試験方法	試験結果			
			養生温度(℃)※2			
			5	10	20	30
練混ぜ水量(kg/袋)		—	2.90	2.80	2.70	2.65
練上り温度(℃)		—	8	11	22	33
テーブルフロー(mm)※3		JIS R 5201に準ずる	205	217	211	215
単位容積質量(kg/ℓ)		JIS A 1171に準ずる	—	—	2.334	—
塩化物イオン量(kg/m ³)		JASS 5T-502に準ずる	—	—	0.08	—
ブリーディング率(%)		JIS A 1123に準ずる	0.0	0.0	0.0	0.0
膨張収縮率(%)		JSCE-F 542に準ずる	—	—	+0.2	—
凝結時間(時間-分)	始発	JIS A 1147に準ずる	6-15	5-10	4-40	3-45
	終結		10-55	8-20	6-05	4-45
圧縮強度(N/mm ²)	1日	JIS A 1108に準ずる	3.2	7.7	23.0	33.2
	3日		24.7	29.5	45.2	48.2
	7日		36.4	41.7	49.6	51.5
	28日		46.4	49.5	55.1	56.7
	56日		50.6	53.4	57.5	58.3
静弾性係数(×10 ⁴ N/mm ²)		JIS A 1149に準ずる	—	—	3.25	—
接着強さ(N/mm ²)	28日	JIS A 1171に準ずる	—	—	2.9	—

※1 試験室での測定結果の一例です。現場での物性を保証するものではありません。

※2 試験温度は、試験室温度、材料温度、養生温度を全て同一の温度条件としている。

※3 テーブルフローは15回の落下運動は行わない。引抜きフローによる。



安全上の注意事項

- 本製品はカタログに記載されている方法でご使用ください。
- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼・鼻・皮膚および衣類に触れぬよう保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用の上ご使用ください。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水で十分洗浄した後、医師の治療を受けてください。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いしてください。
- 作業後は手洗い、うがいをしてください。
- 製品の使用にあたってはSDS（安全データシート）を参照願います。

カタログに記載されている諸物性などは、環境条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。
カタログの記載内容は、予告なしに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承ください。



太平洋マテリアル株式会社

<https://www.taiheiyo-m.co.jp>

北海道支店	〒060-0004	北海道札幌市中央区北4条西5-1-3	日本生命北門館ビル	☎ 011-221-5855
東北支店	〒980-0804	宮城県仙台市青葉区大町1-1-1	大同生命仙台青葉ビル	☎ 022-221-4511
東京支店	〒114-0014	東京都北区田端6-1-1	田端ASUKAタワー16階	☎ 03-5832-5240
関東営業部	〒370-0849	群馬県高崎市八島町58-1	ウエスト・ワンビル5階	☎ 027-329-5970
中部支店	〒453-0801	愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18	名古屋KSビル	☎ 052-452-7141
関西支店	〒541-0042	大阪府大阪市中央区今橋2-3-16	JMFビル今橋01	☎ 06-7669-7380
中国支店	〒732-0828	広島県広島市南区京橋町1-23	大樹生命広島駅前ビル	☎ 082-261-7191
四国支店	〒760-0050	香川県高松市亀井町7-15	セントラルビル	☎ 087-833-5758
九州支店	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4-2-31	第2サンビル	☎ 092-781-5331